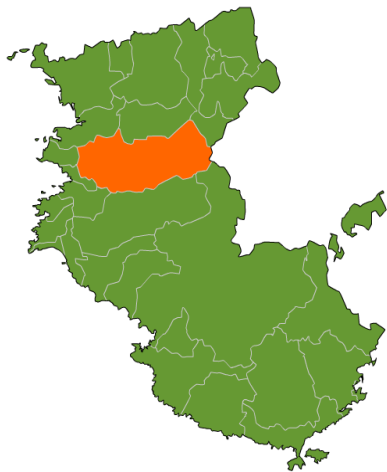


和歌山県有田郡有田川町

学生との協働による継続的な棚田保全活動体制の構築



【地域の基礎データ】

人口：26,590 人（平成 30 年 12 月末現在）

面積：351.84 平方キロメートル

高齢化率：30.3%（平成 27 年 1 月 1 日現在）

産業：農業（みかん、山椒、花き）、林業 など

観光資源：あらぎ島、生石高原、温泉 など

【活動の基本情報】

参加学生数：34 名（1 回生：10 名、2 回生：14 名、3 回生：6 名、4 回生：4 名）

活動期間：平成 23 年 7 月～

担当教員：大浦由美

1. 活動実施の経緯

有田川町での第 19 回全国棚田（千枚田）サミット（2013 年度）開催決定をきっかけに、2010 年に県が企画した「棚田モニターツアー」に学生約 20 名が参加。地域の農業者の高齢化とともに耕作放棄地が増加する当地の現状を目の当たりにして、学生側から「棚田保全ボランティア」のアイデアが出される。

和歌山県と有田川町からの提案で、学内で棚田保全ボランティアへの参加者を募り、「棚田ふぁむ」を結成。2011 年 7 月から活動を開始した。



2. 活動の内容

- ・ 農作物の生産：コメ、サトイモ、大根、カボチャ、ゴボウなど
- ・ 農作業支援：サンショ収穫作業の支援、茶摘み・製茶作業の手伝い、草むしり
- ・ 地域活動支援：祭礼への参加、餅つき手伝い、溝普請（水路清掃）、獣害防止柵の見回り
- ・ その他：地区産品用ラベルの作成、活動広報誌の作成・配付、大学祭への出店（棚田米を使った焼きおにぎりや番茶を販売して沼地区を PR）



5/19 田植え



7/14-16 サンショ収穫



9/28 稲刈り



10/24 白山神社秋祭り



11/24 大学祭



12/8 交流会

3. 活動を通じて

(1) 継続的な地域支援活動への発展

本活動は今年で8年目となる。交流会等には毎年卒業生の参加もみられ、幅広い世代が行き交う場となっている。県庁農業農村整備課や有田振興局、有田川町役場から多大な支援を受けているものの、年間計画の作成や活動毎の連絡調整などについては、県庁・行政担当者や地元農家と直接連絡を取りながら、学生主体で行っている。

(2) 地域行事への貢献

2012年から白山神社秋祭り等、地区の祭礼に参加している。若者不足で途絶えていた「餅担ぎ」を約50年ぶりに復活し、地区に賑わいを添えている。

(3) 活動広報誌の作成・配付を通じた理解の醸成

2013年より活動広報誌「ふあむからあのね」を毎回の活動毎に作成し、沼地区の全世帯に配付している。現在では地区内での活動の認知度も向上し、普段活動に参加していない住民にも好評である。

(4) 今後の課題

今後は、棚田保全活動やサンショ収穫などの農作業支援に加え、地域の共同活動等の支援にも取り組みたい。そのために、地区の現状や必要な支援についての調査活動を実施する予定である。